

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	綿引不動産鑑定事務所
江戸川(都) - 11	東京都	区部第 1 2	氏名	不動産鑑定士 綿引 信孝

鑑定評価額	93,600,000 円	1 ㎡当たりの価格	490,000 円 / ㎡
-------	--------------	-----------	---------------

1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 7 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 7 年 7 月 3 日	(6) 路線価	[ 令和 7 年1月]	380,000 円 / ㎡
(2) 実地調査日	令和 7 年 6 月 5 日	(5) 価格の種類	正常価格	路線価又は倍率	倍率種別	倍
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		江戸川区平井三丁目 1 3 7 2 番 3 「平井 3 - 1 6 - 2 1」				地積 (㎡)	191 ( )	法令上の規制等	
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況		1 住居 (60,300) 準防高度(3種) (その他) (70,280)	
	台形 1 : 1.5	住宅 W 2	一般住宅、共同住宅に事業所も見られる住宅地域		南東7 m 区道	水道、ガス、下水	平井400 m			
(2) 近隣地域	範囲	東 90 m、西 20 m、南 30 m、北 90 m				標準的使用	低層住宅地			
	標準的画地の形状等		間口 約 12 m、奥行 約 15 m、規模 180 ㎡程度、形状 長方形							
	地域的特性	特記事項 特にない		街路 基準方位北 7 . 0 m区道		交通施設	平井駅南西方400 m		法令 1 住居 (70,280) 準防高度(3種) 規制	
	地域要因の将来予測	最寄駅から徒歩圏内の戸建住宅、共同住宅等が見られる住宅地域である。格別な変動要因は見られず、当面は現状のまま推移すると予測する。地価水準は、堅調な不動産市場、需要増大等から上昇傾向となっている。								
(3) 最有効使用の判定	低層住宅地					(4) 対象基準地の個別的要因	方位 +4.0			
(5) 鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格 501,000 円 / ㎡								
	収益還元法	収益価格 278,000 円 / ㎡								
	原価法	積算価格 / 円 / ㎡								
	開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡								
(6) 市場の特性	同一需給圏は、ＪＲ総武線、都営新宿線沿線駅から主として徒歩圏内の江戸川区内等の住宅地域である。中心となる需要者は東京都内等に勤務するサラリーマン、ファミリー世帯であるが、中小企業経営者、投資家等の需要もある。平井駅から近く利便性は高く、住環境も良く、需要は高い。市場の中心価格帯は、土地は１００㎡程度で４，７００～５，７００万円程度、新築戸建住宅は同規模で６，０００～７，０００万円程度で、更なる高額物件も見受けられる。									
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	当該地域は共同住宅と自己使用中心の住宅地域である。試算収益価格の収益性は低く、取引価格指標と成り得る価格水準になっていない。又見積り要素も含み客観性に欠け収益価格の規範性は低い。よって本来収益価格は比準価格と同程度考慮すべきだが、居住の快適性等に基づき市場で形成された実証的で規範性の高い比準価格を重視し、収益価格を比較考量し、更に周辺地価動向や代表標準地を規準とした価格との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記の通り決定した。									
(8) 公規価示価格と格しをた	代表標準地 標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準 街路 0.0 地 街路 -1.0		
	標準地番号 江戸川 - 32							準 交通 0.0 域 交通 -1.0		
	公示価格 485,000 円 / ㎡	[103.0] 100	100	100	[104.0] 100	490,000		化 環境 0.0 要 環境 +5.0		
(9) 指か定ら基の準検地討	指定基準地番号 江戸川(都) - 22	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	補 画地 +4.0 因 行政 -1.0		
	前年指定基準地の価格 438,000 円 / ㎡	[107.3] 100	100	100	[104.0] 100	489,000		正 行政 0.0 その他 0.0		
(10) 対年ら象標の基準検準価討地格の等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 457,000 円 / ㎡			価 変 動 形 成 要 因 の	〔一般的要因〕	江戸川区の地価水準は、堅調な不動産市場、需要増大等から上昇傾向となっている。高齢化はやや進行。				
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討				〔地域要因〕	最寄駅から徒歩圏内の住宅地域で、居住環境は整備され、地域内の需給は安定。地域要因に格別な変動要因は見られない。				
	代表標準地 標準地				〔個別的要因〕	個別的要因に変動はない。				
	標準地番号 -									
	公示価格 円 / ㎡									
	変動率	年間 +7.2 %	半年間 %							